



坂戸市立桜中学校
校長 石田 章浩
令和6年5月2日
【第2号】

校訓 「自主・澆刺」	学校教育目標 自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成	生徒数 1年生120名 2年生 92名 3年生101名 全校313名
---------------	------------------------------	---

視野を広げよう

さて、よく「視野が狭い」という言葉を聞くことがあると思います。視野が狭いとは、物事を考える時に、判断したり、考えが狭いことを指します。自分以外の接触が少なく狭いコミュニティにいる様子を言います。私たちは人それぞれ立場や環境が違います。したがって、物の見方や考え方など、多くの点で違いがあります（2、3年生は朝鑑賞で実感しているはず）。しかし、自分の主張、立場だけにとらわれていると「心の視野」は広がりません。すると、自分とは違う立場の異なる相手に対して、思いやる心を持つことはもちろん、全体を見渡した有効な見方や考え方はできないでしょう。完璧な人間はいません。誰もが皆「不完全」なのです。これが人間同士です。そんな人間同士が一緒に生活していく社会になるので、トラブルが起こってしまいます（だからといって、それでいいとは決して言っていません）。しかし、それぞれが「自分自身を見つめ、見直す心」と「他者を思いやる心」を自分自身で身につけられるようにしていく態度や気持ちがあれば、少しずつ変化していくのではと思います。豊かな心を身につけていけば、「誰にとっても住みよい世の中」が構築されていくのだと思います。「世界の平和」「人類の平和」につながるのではないのでしょうか。怖いのは、「自分の思う正しさ（正義）」に合わない相手の言動が許せない、といった感情になると、相手の立場や思考を考える

ことができなくなるようです（見ず知らずの人を平気で誹謗中傷して、犯罪行為として処罰されることが多々あることは周知のとおり）。つまり相手を攻撃することがあれば、相手から見ればそれこそが「身勝手な行動」となります。

私たちは「他人の失敗や欠点」にはすぐ目についてしまいがちです。しかし「自分の間違い」には……。気づきにくいこともあります。気づいていても「目をつむってしまふ」こともあつたりします。良くないのは、時には指摘されても、逆にそのことに対して反撃をしてしまうこと。もし、他人の言動を受け入れがたくなったら、少し落ち着いて、冷静に相手の事情を考えてみる一方で「自分も周囲に不快な思いをさせたかな」と自分のことを振り返ってみたり、先に述べたように指摘されたことを客観的に考えて「心の視野」を豊かに広げていくことが大切だと思います。

さて、体育祭の練習が始まっています。あなたは、運動が得意かもしれません。でも、あなたの横には運動が苦手な人もいます。あなたにも苦手なことはあるでしょ。一生懸命にやってもできない人もいます。その人に対して、あなたは、どのような言葉、行動をとりますか。あなたの言動を周りの人は見えていますよ。その言動は心温まるものですか。それとも、周りの人を不快にさせるものですか。その気持ちを第三者にぶついたり、まさか、SNS等に投稿したりすることはありませんよね。あなたの言動1つで、「雰囲気」を壊します。「妥協」することも必要です（社会に出ると、このことの繰り返し）。なぜなら、目標は「同じ」だから。「その言動 他人を思う 心はありますか」

令和5年5月号ニューモラル 参照

募集

坂戸市交通対策課から依頼があり、「交通安全母の会」の会員を募集します。男女を問わず、保護者はもちろん、地域にお住まいの方でも構いません。手助けをしてくださる方がいましたら、桜中学校までご連絡ください。ご協力をぜひお願いいたします。

連絡先 049-282-2002

メール sakurajhs@sakado.ed.jp